

ひみのふくし

7

2024 Jul
No.431

企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞍川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

この広報誌は皆さんからの会費、
共同募金の助成金により発行
されています。



壊れたおもちゃ 治療します

おもちゃ病院たんぽぽ

開院日 毎月第2土曜日 13:00~16:00

場 所 氷見市ボランティア総合センター
ボランティアワークルーム

(氷見市中央町12-21 氷見市いきいき元気館内)

治療代 原則無料(修理部品代が必要な場合があります。)

事前持ち込みOK(問合せ:0766-74-1800)

▼CONTENTS▼

- ◆里山カフェが住民の集い語らう場に
—余川なんでも相談の日— …2ページ
- ◆いいね! 地区社協 ◆新入職員紹介 …3ページ
- ◆氷見市ファミリー・サポート・センターを利用しませんか?
◆各種お知らせ …4ページ

里山カフェが

— 余川なんでも相談の日 —

住民の集い語らう場に



感染症の影響で年に約10回実施していたふれあいランチサービスやシルバー談話室も中止せざるを得なくなり、地域住民の集う場が無くなっていました。

余川地区社協の山口会長は数年前から、地域の身近な場所ので、地域住民の誰もが気軽に相談ができる「なんでも相談」を行いたいと考えていました。ちょうどその頃、県外から余川地区に移住した斎藤航太郎さんが地域住民から長年親しまれた商店跡を改装し、カフェを開業すると知りました。地区社協としても「斎藤さんを応援したい」「地域のコミュニティを盛り上げたい」という想いがあり、カフェでの「なんでも相談」の開催を相談したところ快諾され、実現しました。

余川地区社会福祉協議会（以下、「余川地区社協」）では、地区への移住者が開業したカフェ（sol&mar）を活用し、令和5年12月から毎月第1金曜日に「なんでも相談の日」（以下、なんでも相談）を始めました。

余川地区は、平成18年に余川小学校が閉校、新型コロナウイルス

「なんでも相談」では、地区の民生委員児童委員と福祉推進委員などが住民からの様々な相談に対応しています。話を聞くだけで済む場合もあれば、地域での対応が難しい場合は行政や福祉専門職へ橋渡しを行います。今年度から、氷見市地域包括支援センター地域窓口や氷見市社会福祉協議会の職員も不定期で参加する予定です。さらに、地域の高齢者が足を運びやすいように、70歳以上の高齢者には地区社協が飲食費500円を助成しています。参加者は、「おしゃれな雰囲気の中で気軽に話せる場所ができ、たいへん嬉しく思っています。特に悩みが無くてここにへ来ることで気持ちが楽になるので、毎月楽しみにしています」と話していました。ガラス張りの店内は、外の光が中に入り開放的で明るく居心地の良い空間となっており、カフェに来た親子連れやそれを見守る高齢者など、様々な人の笑い声が店内に響いています。

山口 康夫さん

余川地区社会福祉協議会 会長



まず「なんでも相談」でお店を訪れることをきっかけにして、店の雰囲気を知ってもらい、次は友人や子ども、孫などを連れてくることで、高齢者の閉じこもり予防につながるのではないかと感じています。カフェのあたたかでゆったりとした雰囲気の中で、コーヒーを飲みながら、悩みのあるなしに関わらず気軽に立ち寄ってほしいと思っています。

斎藤 航太郎さん

sol and mar 店主



カフェはキッズスペースや授乳室を設けるなど子育て世代が足を運びやすいようにしていますが、高齢者の方々が来づらい面も感じていました。「地域の人々がゆっくりできる場所」でありたいと考えているので、なんでも相談に来た方々の笑顔を見ていると嬉しくなります。今後もできる範囲で協力していきたいと思っています。

Information 氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内) TEL:74-1800 FAX:74-8055
受付時間 8:30~22:00(年末年始を除く) メール: hlm-volunteer@hlm-shakyo.jp



♥ いいね! 地区社協

⑭ 朝日丘校区社会福祉協議会 (柳原龍成 会長)

朝日丘校区社協(以下、校区社協)では昨年、長年にわたり活動を支えてきた役員の交代を迎え、校区社協が大切にしたいことや活動の方針を明らかにする小地域福祉計画「朝日丘ふくしプラン」を市内で初めて策定しました。

まずはアンケート調査や町内ごとの座談会で現在の朝日丘について住民が感じていることを整理しました。その結果を踏まえて「これからの朝日丘」を考えるワークショップを開催し、「どんな朝日丘になってほしいか」「今の朝日丘の強みは何か」

などをテーマに、前向きにアイデアを出し合いました。そして、これからの地域の福祉を進めるための旗印となる「朝日丘ふくしプラン」が完成しました。

柳原会長は、「プランを基に関係者が活動方針を共有し、これまで校区社協の先輩方が大切にしてきたことを引き継ぎながらより良い活動を展開していきたい」と話します。今後も定期的にプランを見直しながら、校区社協の目指す全体像である「支え合う 人にやさしい あさひがおか」の実現を目指していきます。



新入職員紹介

氷見市社協に新たに入職した職員です。
よろしく願います。



なかむら けいご
中村 圭吾
ふくし相談
サポートセンター
アウトリーチ支援員



ばんしょう はるか
番匠 春香
高齢者支援課
ケアマネジャー
(介護支援専門員)

地域福祉の推進にご協力ありがとうございます

みなさんの会費が地域の福祉に役立っています

氷見市社会福祉協議会(以下、「市社協」)は、行政や各専門機関、地区社協や自治会等と連携し、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を使命として活動しています。

地域福祉活動やボランティア活動を推進しており、職員が地域に出向き、地区社協や自治会等とともに、ケアネット活動やいのちのバトンの普及の他、様々な活動を側面から支援しています。加えて、能登半島地震の後は、「災害ボランティア・支えあいセンター」を運営し、被災された市民の方の復旧・復興をお手伝いしています。

また、ホームヘルパーの派遣(訪問介護)や寝たきりなどでタクシーに乗れない方の移送事業、障害のある子どもや大人のデイサービス、本紙P4に掲載している子どもの一時預かり(ファミリー・サポート・センター)事業など、福祉サービスを必要としている方への支援も行っています。

これらの活動を行うために市社協では、自治会等を通じ各世帯から300円の一般会費、市社協の活動に賛同くださる企業や団体等から一口5000円の賛助会費を納入いただき、活動資金としています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



災害ボランティア・支えあいセンターから被災された市民の家に訪問する職員(左)

子育て世帯を応援します！

氷見市ファミリー・サポート・センターを 利用しませんか？



丁寧に関わりながら子どもに寄り添います

氷見市ファミリー・サポート・センターでは、
お子さんの一時預かりをしています。
氷見市社協で登録したスタッフが丁寧に預かります。

- 震災後の家屋の片付けをするため
- 美容院に行きたいけど、子どもを預ける人がいない
- 子どもと離れて息抜きをしたい
- 兄弟の受診の為、下の子を預かってほしい
- 里帰り出産のため兄弟を預かってほしい
- 病気の回復期(発熱、感染症除く)にあるお子さん など

※ただし、社協の登録スタッフが見つからず、依頼のお断りをさせていただく場合があります。予めご了承ください。

こんな時に
利用できます！

対象 乳幼児～小学生6年生

場所 氷見市社会福祉会館
氷見市いきいき元気館

料金 [平日] 8:00～18:00 … 1時間 400円
[土日祝日] 8:00～18:00 … 1時間 500円

※利用の1週間前までに社会福祉会館に来館のうえ、会員登録をしてください。
※市外に住民票のある方は、曜日問わず1時間 800円になります。



Information

氷見市ファミリー・サポート・センター

T935-0025 氷見市鞍川975番地(氷見市社会福祉会館内) TEL:74-5561 FAX:74-8409
メール:kodomokan-klara@softbank.ne.jp 受付時間:平日8:30～17:15

氷見市災害ボランティア・支えあいセンターを設置しています

地震による困りごとをお聞かせください

地震の復旧・復興(家屋の片付け、がれきの撤去等)や生活を送るうえで不安なことなど
ご相談ください。自治会・町内会単位での
相談も可能です。



受付時間 10:00～16:00 平日・土日・祝日

相談受付中

困りごと専用ダイヤル

090-5687-2202 090-5687-2203

ご寄付をありがとうございます

令和6年5月1日～31日受入分(敬称略・受付順)
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

【ボランティア寄付】 匿名 3,000円

地域福祉の推進に活用させていただきます



【能登半島地震緊急支援募金】

てるてる亭「志の輔のこころみ」 84,448円

学校法人 富山短期大学 99,758円

森地域集落活動センター
みんなの森 2,500円

●募金箱 4月 12,616円

被災者支援に活用させていただきます

今月の表紙レビュー

おもちゃ病院たんぽぽ



おもちゃ病院たんぽぽは、おもちゃの修理だけではなく、使わなくなったおもちゃをドナーとしても受け付けています。おもちゃドクターも募集しています。お問い合わせは、ボランティア総合センター(74-1800)まで